

◆第2回 熊本市自転車駐車対策等協議会 議事

開催日時	令和2年9月18日(金) 14:00~16:15	
開催場所	熊本県民交流館パレア パレアホール	
委員	氏名	団体名等
	柿本 竜治 (会長)	国立大学法人熊本大学大学院先端科学研究部教授
	前村 國弘 (副会長)	熊本県自転車二輪車商協同組合理事長
	山下 信一	国土交通省熊本河川国道事務所交通対策課長
	中島 康彦	国土交通省熊本河川国道事務所河川管理課長
	吉ヶ嶋 雅純	熊本県土木部道路都市局道路保全課長
	大友 将輝	熊本県警熊本中央警察署交通第一課長
	村上 寿一	熊本県警熊本南警察署交通第一課長
	井 尚智	熊本県警熊本東警察署交通第一課長
	西本 明義	熊本県警熊本北合志警察署交通第一課長
	深見 裕二	熊本市高等学校生活指導連盟会長
	瑞穂 達也	熊本市中学校生徒指導委員会会長
	井坂 智徳	九州旅客鉄道株式会社熊本支社副支社長
	安田 二郎	熊本市商店街連合会会長
	劔羽 逸郎	熊本県商店街振興組合連合会会長
	坂井 一文	熊本商工会議所商工観光振興部部長
野口 和紀	株式会社熊本日日新聞編集委員	
平川 智美 (欠席)	熊本県サイクリング協会理事	
近藤 良栄	市民代表	
桑原 たか子	市民代表	
事務局	都市建設局 土木部	土木管理課 自転車対策室

司会:事務局

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

(1) 熊本市自転車活用推進計画骨子案について

■事務局説明

■柿本会長

・大きな変更点として、計画のタイトル、基本目標、3つの基本方針がある。計画の大きな骨格になると思うが、骨子案について意見・質問等はあるか。

■委員

・施策「学校と連携した自転車学習の推進（継続）」とあるが、幅広い年代に自転車利用を呼び掛けるという中で、おそらく自転車で通学する学生は増えないと思う。今後増やしていきたい年代層は学生以

外の年代だと思う。学校は継続しつつ、その他の企業や商店街などにおいて、一緒に学習を進めていくことも施策の中に必要ではないか。

・幅広い世代の自転車利用について、学生の利用はこれ以上増えない点、高齢者の自転車利用には不安がある点などを考えると、自転車利用を推進するターゲットは通勤利用者、観光で回遊する人達だと思う。現計画の目標「自転車を利用する機会が増えたと感じる市民の割合 4%増」とあるが、これらをターゲットとしているという認識でよいか。

■事務局

・ターゲットについては通勤をメインに全世代に広げていきたいと考えている。確かに学生の通学利用は劇的に増えることはないと思うが、休日に自転車を利用して街に出かけるなど、乗る回数（個人の利用機会）を増やしていきたいと考えている。

・バスの減便など公共交通が不便になる中で、高齢者にとっては電動アシスト付自転車が代替手段になる可能性がある。市街地中心部以外で高齢者が電動アシスト付き自転車を利用しているのをけっこう見かける。高齢者においても、電動アシスト付き自転車を使って、自転車の利用を促進していきたいと考えている。

■委員

・総合的な計画であるため仕方ないと思うが、アピールする部分のような熊本市の独自性が乏しいように思う。それぞれの3つの方針ごとに施策があるが、方針毎に重点的な施策を考えてほしい。これだけ施策が多いと総花的な印象がある。

■事務局

・施策の検討において重点施策を検討する。

■委員

・施策「自転車安全保険加入の促進（継続）」とあるが、熊本県の場合は努力義務となっているが、義務化としている自治体も多くある。私が自転車に乗らない理由は、自転車を危険に感じる人が多いからである。自転車事故により、高校生に1億円近くの賠償が発生している事例もあり、熊本市においても義務化が必要なのではないか。保険に加入し、きちんとルールを守って自転車を利用して安全を確保することが必要だと思う。

■事務局回答

・第7次熊本市総合計画のアンケートにおいて、月に1回以上自転車を利用している人の加入率は53.5%と思ったより多い印象。今後10年の中で熊本県と連携して、できるだけ義務化をできればと考えている。最近では年間2000円程度で家族が補償を受けられるなど、低価格の保険もあるが知られていないため、そのようなPRを含め、保険加入促進に向けて取り組んでいきたい。

■委員

・アンケートの回収率を考えると、実際の加入率はもっと低いのではないかと。

■事務局回答

・アンケートに回答される方は行政への意識の高いと思うので、実際を反映した数字ではないかもしれないが、今ある資料としてこのような数字があるということ。

■委員

・施策「ヘルメット着用の推進（継続）」とあるが、サイクリング利用者のヘルメット着用は多いが、通勤・通学でヘルメットを着用している人は非常に少ない。ヘルメット着用の推進に関して、現在の取り組みは何かあるか。

■事務局回答

・ほとんどの学校では通学時は着用義務としているが、一般の利用者は着用していない状況。アピールとして、市の広報や駐輪場のポスター掲示などにより、広報を行っている。今後も継続して取り組んでいくとともに、今後10年の中で、ヘルメットの着用を条例化できればと考えている。

■委員

・警察においてもヘルメット着用を推進しているため、市と一緒に取り組んでいきたい。自転車事故の被害軽減のために、全国ヘルメット着用率1位を目指していきたい。

■委員

・仮称となっているこの“熊本市グッドサイクル計画”は、一般市民の目にどういった形で触れられるのか。

・最近では、デリバリーが普及してきており、配達を始めるため自転車を購入するお客さんもいる。東京では配達員の利用マナーが問題になっており、熊本市で問題になるのも時間の問題だと思うので、安全面において、この問題についても入れていただきたい。

■事務局

・今後、計画を策定した報告を行う場合には、計画の名前を全面的に出していきたい。また、ポスターなどの広報にも名前を出していく。積極的に広報に努めていきたい。

■委員

・“グッドサイクルシティ計画”と聞くと、熊本市は自転車に良いまちにしていく計画を伝えたいと思うが、関心が少ない中で、ポスター等で広報していくのであれば、このタイトルでは、市民に良くなりそうと伝わるのか疑問。今のタイトルはフワフワしていて、何年もかけて熊本市を変えていくということが、市民にガツンと伝わるのかどうか分からない。具体案はないが、もっと明確なビジョンが分かるようなタイトルであれば、自転車に関心を持つきっかけになると思う。

■柿本会長

・総合的な自転車の計画となっており、骨子に基づいて素案の中で、具体的なアクションプランが示されると思う。アクションプランの中で熊本市が何に重点的に取り組むのかなど、市民の心をつかむような施策が掲げられることを期待している。

・仮称ではあるが、タイトル・目標・方針については、今の骨子案でよろしいか。

■委員一同

(異議なし)

(2) 熊本市自転車活用推進計画素案（イメージ）について

■事務局説明

■柿本会長

・施策について、市だけで出来ることは少ないと思う。各機関から意見をいただきたい。

■委員

・施策「サイクリングルートの設定・整備」とあるが、長崎では“長崎さるく”というテーマで複数のコースが設定されており、住民の方も楽しんで利用しているという話を聞く。熊本市においても“古町コース”など、テーマごとのコースがあるといいと思う。また、観光マップを作成している地域もあり、そのような地域と連携すると、楽しいサイクリングマップを作ることが出来ると思う。

・熊本市では 2022 年の花と緑の博覧会の開催に向けて“みどりの検定”の実施を開始し、市民の関心度が高いと聞いている。指導員の育成の面でも“サイクル検定”を実施し、観光や交通マナー等を盛り込んで意識啓発をして、市民に自転車への関心を持っていただきたい。受験者数や正答率などを数値目標とすると、目標が明確になるように思う。

■事務局

・昨年度西区でサイクリングマップを作成し、作成時には様々な自転車利用者の意見を聞いて作成したと聞いている。今後は、その他の区においても、地元の良さが分かるようなルートを地元の方に選んでいただき、区ごとにサイクリングマップを作成したいと考えている。西区の作成時には区の中だけでルートを設定したため制限があったが、そのあたりは柔軟に対応し、区をまたがっても楽しめるようなルートも設定していきたい。

・交通ルールに関する正答率だけでは面白くないため、自転車の良さや楽しさなど、様々な設問を設定するなど、計画に盛り込んで目標値を設定していきたい。

■委員

・交通ルールに関する正答率を設定しているが、それを守っていなければ意味がないと思うため、逆走や傘さし運転、イヤホンをつけての走行など、実際の違反件数を設定した方が良いと思う。

■委員

・施策「高齢者に向けた交通安全教育の推進（継続）」とあり、昨年、南署では 460 名の方が免許を返納された。全ての方が自転車を代替手段としているかは分からないが、免許を返納した方に関わらず、高齢者のヘルメット購入補助の導入や自転車購入時のヘルメット無償配布などを検討していただきたい。

■柿本会長

・免許返納時に、市と警察が連携すれば効率的ではあるが、なかなか難しい部分がある。例えば、別の自治体で免許返納者に IC カードを配布する事業があったが、警察署では配布できず、返納後に市役所で配布していた。一元化されていくと、返納後に公共交通に乗り換えて移動できるが、現状では上手く連携ができていない状況。今後は自転車も含めて、免許返納をどのように進めていくかは重要になると思うので、市と警察が上手く連携して進めていただきたい。

■委員

・商店街としては、広報啓発活動に関しては協会や警察の方と連携し、何か要望があればお手伝いできると思う。

■委員

・目標 1「主要道路における自転車交通量」が掲げられているが、自転車台数と同時に違反がどのくらいあるか調査すると、指導する側もその資料を活かしていけると思う。

・将来イメージ図について、あくまでイメージという認識でよいか。イメージ図では、必ず自転車走行空間が歩道と分離され、車道上に走行空間が整備されている。中心市街地ではバスレーンがあり、バスと自動車と歩行者が混在している状況。このなかで走行空間を整備するのは難しく、ネットワークを構築する上でも課題であると思う。イメージ図のような形が本当にできるのか疑問に思う。どのように考えているのか。

■事務局回答

・将来イメージ図については、一概に良い所を切り取っている部分があるが、将来的には少しずつでも整備を進め、このような形にしていきたいと考えている。確かに中心市街地においては交通量が多く、交通量に対して幅員も狭いため、整備が難しいところもある。

■委員

・熊本県は先行して昨年度末に推進計画を策定している。幅広く活用してもらうには、安全面や走行空間の整備が求められる。声かけだけではなく、道路環境が変わらなければ自転車の活用は進まないと思う。市内に県立劇場前や子飼橋周辺、上熊本駅と崇城大学間など、良い走行空間の整備が進んでいる。今後は自転車利用が多い路線等もあるため、将来的にはモデル的に大胆な道路空間の再編や自転車走行空間の確保を期待している。

・県の計画にはない施策「熊本市版「自転車通勤推進企業」認定制度の導入」について、ウィズコロナで自転車通勤が注目されている中で、このような認定制度が進むと全県的な展開も考えられるのと思うため期待している。

・本日の議論や第 1 回目でも“縣市連携”という意見があったが、やはり自転車活用を進めるためには、できる限り市と連携したいと考えている。具体的には、サイクルツーリズムに関して、県内では人吉や天草、阿蘇などにおいてツーリング協議会の発足やネットワークの整備がされている。熊本市が東西南北を結ぶ中間的な核（ハブ）となるように、連携を図りながら進めていきたい。

■委員

・将来イメージ図について、全国的には先行的に進んでいるところが多い内容であるので、他都市の事例から問題点や課題も抽出していただきたい。福岡市では、イメージしている内容は既にほとんど網羅されているように思う。問題点や課題を共有して、どれを重点的に取り組むかなどを検討していただきたい。

・車と自転車が、どのように共存できるのか検討していただきたい。特に熊本市都市圏においては、渋滞が問題となっているため、道路のネットワーク計画なども踏まえて検討をしていただきたい。その他、サイクル&ライドなど、都市圏の渋滞対策も含めて検討していただければと思う。

・自転車といっても、スポーツタイプの自転車や電動アシスト付き自転車やママチャリなど、走行速度が異なるため、一律自転車を一まとめにするのは難しいと思う。

・10年計画となると、電動カートや電動キックボードなど、その他の代替手段が出てくると思う。そういった将来的なものも見据えて計画を進めていただきたい。

■柿本会長

・施策「自動車学校・免許センターと連携した自転車交通ルールの周知徹底」とあるが、前回の議論では講義内容に新たに組み込むことは難しいという話があったが、どのように連携を図っていくのか。

■事務局

・免許センターと協議した結果、講義内容は決められており難しいという回答であった。ただし、ロビーでチラシやパンフレットの配布、啓発ビデオを流すなどについては了承をいただいている。まずはそういった部分から始めて、いずれは講義内容にも組み込んでいただくための働きかけを行っていきたいと考えている。

■柿本会長

・県警では自転車の安全教育や啓発活動など、自転車を普及させていくための取組みはあるのか。

■委員

・通勤・通学利用が多い主要交差点で最低月1回は通勤・通学時間帯に交通指導を実施している。また、高校などから交通安全教室の依頼があるため、それに応じて実施している。スクエアード・ストレイトといった、傘さし運転や二人乗り、スマホながら運転などで自動車や歩行者と衝突した場合にどうなるかといった実演を交え、視覚に訴えかける形で安全教育を実施している。

■柿本会長

・市と県警が連携して安全教育を進めていただきたい。

■委員

・中央署管轄の人身事故の1/4が自転車事故となっている。私自身ヘルメットを着用して自転車通勤をしているが、声かけだけではなかなか普及しないと思う。市の職員が全員ヘルメットを着用していれば市民の目を引くと思う。そうすれば市民の意識向上につながり、指導もしやすくなると思うため、ぜひ進めていただきたい。

■柿本会長

・ベストミックスという話にも関わってくるが、サイクル&ライドを進めるにあたって、交通結節点の駐輪場整備が必要となるが、市はどのように考えているのか。

■事務局

・現在 JR の駅で駐輪場整備をしている。西熊本駅や新水前寺駅などは、常に満車状態となっている駐輪場もみられ、そういった駐輪場においては拡張して、さらにサイクル&ライドを進めていきたいと考えている。市で独自に用地を取得して整備するとなると難しい部分があるため、できるだけ高架下などの JR の空き用地があれば活用したいと考えているため、JR と連携して進めていきたい。

■柿本会長

・JR では駐輪場整備についてどのように考えているのか。

■委員

・市が管理している駐輪場と JR が管理している駐輪場があるため、状況を見ながら協議して駐輪場の整備を進めていきたい。

・違法駐輪対策としては、お客様からの意見もあるため職員でも対応等している状況。

・シェアサイクルに関しては、駐輪場が広くなくても狭小スペースを活用して設置が可能と思われるため、連携して話を進めていきたいと思う。

■柿本会長

・容量が足りていない駐輪場もあるので、両者が連携して駐輪需要に見合った駐輪場整備を進めていただきたい。

■柿本会長

・施策については何を重点的にしたいかが分からない。市は、説明の時にはやりたいことが明確に分かるようにしていただきたい。

・3つの方針と目標が一致しない印象にある。どういう筋道をたてると3つの目標に向かっていくかを考えながら計画の策定を進めていただきたい。

(3) 熊本市自転車ネットワーク計画の見直しについて

■事務局説明

・アフターコロナ計画については国と調整中。フォーマットが届き次第、ネットワーク計画を参考に作成して提示させていただく。

■委員

・計画においてはネットワーク路線の整備（自転車走行空間の充実）が重要だと考えている。優先的に整備すべき路線が40 km、そのうち5年で整備する路線が22 kmとある。当初のネットワーク計画で設定した路線の整備は8年間で12.4 kmであり、これまでのペースを考えると厳しいのではないかと。予算措置を含め、現実的な市の体制や地域の商店街等との協力も必要になってくる。実現に向けて強い体制で

整備を進めていただきたい。また、このペースでネットワーク整備を進めると、全ての路線を整備するのに20～30年程度かかりそう。もっとペースアップすべきではないのかと思うので、そのあたり知恵を絞っていただきたい。

- ・来年3月に熊本駅の駅ビルが開業するが、開業後の駅周辺の自転車の動線が気になる。現在は暫定的だが、駅から市電に向かう歩行者の動線を横切る形で自転車の動線が通っている。熊本駅は都市の顔であり、駅前が自転車と歩行者が混在するのは良くない。自転車動線に関しては、各機関と連携を取って検討し、整備を進めていただきたい。

■事務局

- ・熊本駅前については別の部署で整備を検討しており、動線に関しては県警と協議を進めているところである。
- ・ご指摘の通り年間4km程度の整備のため、整備率は進まない状況にある。まずは優先順位をつけて順次整備を進めていきたい。

■委員

- ・道路スペースは限られており、新たに自転車走行空間を整備するとなると、空中や地下しかないようにも思う。例えば、時間帯や日によってスペースの使い分けをしてはどうか。
- ・郊外を含め、主要なバス停にも駐輪場やシェアサイクルがあればサイクル&ライドが促進され、渋滞緩和につながると思う。自転車ネットワークの整備とも連携を図りながら、自転車を利用しやすいまちにしていきたい。

■柿本会長

- ・現在の自転車ネットワークは中心部から放射状に広がっており、横方向の移動は難しい。幅員が狭い道路が多いため、横方向の移動を考えた空間の再配置は難しい。大胆なことを考えると、一方通行にして片方の車線を自転車走行空間とするなど、将来的にはそういった部分を考えていく必要があると思う。道路空間の再配置については、今後検討していただきたい。

4. その他

■事務局

- ・第3回の協議会は10月下旬から11月上旬の開催を考えている。計画素案やネットワーク計画を冊子とし、それについて議論させていただきたい。
- ・第4回の協議会は12月上旬の開催を考えている。完成に近い段階の素案について、1月のパブリックコメント前に議論させていただきたい。
- ・第5回は2月中旬の開催を考えている。パブリックコメントの意見を反映した最終案について議論させていただきたい。その後、庁内決裁後3月に計画策定、4月から計画開始といった流れになる。

5. 閉会